

4th International Conference on Geography and Education (ICGE) 2024 にて 基調講演を行い、マラン州立大学において講義を行いました (2024/7/24-25)

テーマ：ICGE, 気候変動

会場：Universitas Negeri Malang (マラン, インドネシア)

2024年7月24日～25日にかけて、インドネシアの東ジャワ州にあるマラン州立大学(UM)にて、地理学部主催による4th International Conference on Geography and Education (ICGE) 2024 が開催され、当研究所の村尾修教授(国際防災戦略研究分野)が基調講演を行いました。

近年、気候変動は世界中で重要課題となっており、気温上昇と海面上昇に伴う洪水、地滑り、干ばつ等による被害が更に深刻化しています。環境の持続可能性を維持し、気候変動の影響を軽減するための解決策を導き出すことを目的として、マラン州立大学地理学部はICGE と呼ばれるフォーラムを設立し、今回の第4回 ICGE は気候変動に焦点を当て「Climate changes and the future of our planet: challenges and opportunities of geography and education」のテーマのもと開催されました。

2日目の25日には、村尾教授が「Disaster management lesson learned from Great East Japan Earthquake」と題して特別講義を行い、人文社会学の観点から、東日本大震災から得た教訓をどのように活かしていくかを講じました。災害大国である日本の知恵と経験を活かした防災管理には、学生達からも非常に高い関心が寄せられました。午後にはマラン州立大学の教員とディスカッションを行い、お互いの研究内容を紹介し、今後の共同研究を踏まえて意見を交わしました。

今後の自然災害に備え、防災の取り組みにおいてインドネシアと日本の交流に寄与する所存です。



登壇者の紹介



村尾教授の基調講演



集合写真



マラン州立大学にて